

令和7年度 第4回 静岡市立清水桜が丘高等学校学校運営協議会 会議録

- 1 開催日時 令和8年2月13日(金) 午前9時50分から11時50分まで
- 2 開催場所 静岡市立清水桜が丘高等学校 第2会議室
- 3 出席委員 遠藤委員、堀谷委員、志村委員、佐野委員
- 4 欠席委員 村山委員
- 5 学校 鈴木校長、江間副校長、松場教頭、古賀事務長
- 6 傍聴者 0人
- 7 内容

(1) 学校運営の報告

- ア 学校運営全般について 校長
- イ 令和7年度学校自己評価(案)について 副校長

(2) 意見交換

- A委員 「現状維持は退化」と言われるが、引き続き「変化」を恐れず学校運営をしてもらいたい。心理的安全性は職場や家庭でも第一優先となることである。
- B委員 静岡市内の中学校は令和9年度から部活動がなくなるが、高校はどうなるのか。
(回答) 本校では、平日は6時間の授業終了後から部活動ガイドラインで定めている時間内で部活動を行っていく。
- C委員 今回のような生徒が発表する体験は、社会人生活や今後の生活に繋がる体験である。現在は学校が過渡期であると考えている。校長のスピード感をもった学校経営を支持している。
- D委員 学校自己評価書については、適正な目標の設定が必要である。また、C評価があった場合は、次年度の取組についても記載があったほうがよい。
探究発表会については、素晴らしかった。個人の課題はあったがさらによくなる可能性があると考えてもらいたい。
スクールポリシーの「突破する」は、現状を超えることである。新しい取り組みや実績を「突破」したことと考えても良いのではないかと。